

地域連携だより

診療科紹介

外科

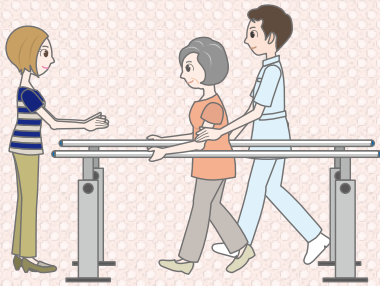
富田病院では、いわゆる腹部大手術も可能ですが(病院ホームページに実績を掲載)、最近の腹腔鏡手術では「胆嚢結石」以外は対応していません。日常的な疾患としては、小外傷、痔核、ヘルニア、虫垂炎、腹痛、小児のケガなどの迅速な対応を行っています。

高齢の入院患者さん、長期入院の患者さんが増加してきており、骨折や褥瘡を併発されています。それに伴って、障害者に対するリハビリテーションの必要性が増してきているため、整形外科医師の指導下で、その日常の診療の対応を行っています。

その他には、乳腺外科の先達の伝統の承継を心掛け、乳房撮影、乳房超音波検査、乳房MRI検査(京都博愛会病院)など、乳房精密検査医療機関の指定を受けています。外来化学療法では、悪性腫瘍の患者さんに通院で可能な経口、経静脈での化学療法を行っています。なお「外科」に伴うとされがちな処置、手術の「痛み」に細心の注意を払い、痛みを最少にします。

小規模病院の外科として迅速で丁寧な対応を心掛け、また、京都博愛会病院と京都大学外科教室からのご支援を受けて、疾患に対する的確な診療水準の維持、向上に努めたいと願っています。

富田病院 副院長 南部 裕和



富田病院

受付時間：午前 8:30-11:30 診療時間：午前 9:00-12:00

	月	火	水	木	金	土
外科	南部	非常勤医師	南部	南部	南部	非常勤医師

※第1-3火曜日は川口、第2-4火曜日は伊藤 ※乳腺外科毎週、月・木・金の午前(南部)、第2-4水曜日の午前は再診(吉田)のみ

京都博愛会病院

受付時間：午前 8:30-11:30 診療時間：午前 9:00-12:00

	月	火	水	木	金	土
外科	金	河原崎	安倍	河原崎	金	非常勤医師

※毎週火曜日:息切れ外来(安倍) 午後1時30分~3時30分 ※毎週土曜日:京大病院医師

※担当医が代わる場合がありますので、病院ホームページの休診・代診案内をご確認ください

部門紹介

安心して下すよ！
傍にいますよ！

京都博愛会病院 看護部 手術室看護師長

藤田 恭成

当院の手術室は2部屋あり、一つは眼科専用、もう一つが外科・整形とし日々の手術に対応しています。眼科は年間約700症例、外科・整形は約100症例の手術を行っています。医師はもちろん看護師・臨床工学技士・放射線技師等と連携を取り、安全で質の高い医療が提供できるよう努めています。

「手術」これは患者様にとって極めて非日常的な出来事だと思います。多くの方が「不安・痛み・恐怖」等を抱きこの日を迎え、手術室に入ってください。

「痛い」
すぐに傍に行き手を握り「痛いですよ。我慢しなくていいですよ。」

「怖い」
「そうですよね。わかりますよ。傍にいますからね。」

自分に共感してくれる誰かが傍に居ると、不安な気持ちや和らぎますよね。安心を感じますよね。そこで、私達看護師は手術の間、患者様に寄り添い傍に居ることです。少しでも安心して手術に臨めるよう声をかけ、時に手を握り援助させて頂いています。

当院の手術室には現在、5名の看護師が在籍しています。皆が培った知識・技術・経験と博愛の精神を持ち、少数精鋭で日々患者様の思いに寄り添える看護を心掛けています。

また、先月には手術台をリニューアルし、最新の器具洗浄装置を導入しました。

緊張と不安の中、一人で手術に臨まなければいけないと思っておられるでしょうか。いいえ、そんなことはありません！「安心して下さい。傍にいますよ！」

『肛門外科とリハビリテーション科』

増田医院は祖父の時代から長らく肛門科だけの自費診療の医院として歩んできましたが、約11年前から肛門科、外科、整形外科、リハビリテーション科の4科に診療科目を増やして、同時に自費診療から健康保険診療に変えてスタートしました。保険診療にしたのはリハビリテーションを始めたからです。私は肛門科専門医でもありますが、リハビリテーション科専門医でもありますので、その特徴を生かして診療科目を変更しました。

11年たって肛門科とリハビリテーション科の受診割合はほぼ半々の状態ですが、今後はリハビリテーション科の受診数が増えてくるだろうと予想しています。理由は2つあります。

一つには肛門科のニーズが変わってきていることにあります。以前、痔核治療は入院での治療が当たり前の頃に、当院は日帰りの治療を行っていましたが、今では痔核の日帰り治療は当たり前のようになってきていますので、受診率は相対的に減少して行くと思えます。

もう一つは当院は筋膜炎性疼痛に対する治療を重点にリハビリテーションを行っています。整形外科的には変形性関節症だから痛むとか、変形性脊椎症だから痛むとか、骨や関節の痛みが云われていますが、実はそのような痛みの中に筋膜炎性疼痛症候群が隠れていることが多いのです。もちろん骨や関節の障害そのものは手術などをしないと治療は困難と考えられますが、実は筋膜炎が混同されてしまっていることがあり、筋膜注射で筋膜炎が楽になって、動きやすくなることがあります。そのため、変形性関節症で関節が動かないと思っていた方も、筋膜治療で動ける様になって、結果関節痛も軽減できたりします。筋膜炎の治療は筋膜炎を軽減させて、身体を動かして温める所にポイントがあります。出来るだけ動いて頂けるようにリハビリテーションを行っていますので、将来的にも受診される方が増加するのではと考えています。

最後に富田病院で金曜日の午後2時から4時まで整形外科をしていますので、そちらでも治療していますので、何とぞよろしくお願いたします。

◎診療科:肛門科・リハビリテーション科・整形外科・外科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00-12:00	○	○	○	○	○	○
午後 1:00- 3:00	△	△	△	△	△	△

※日曜・祝日は休診、午後診(△)は原則として予約のリハビリテーションのみ

増田医院

連携
医院紹介



院長 増田 和人



〒606-0814 京都市左京区下鴨芝本町25
電話:075-781-1171
※駐車場(4~5台)あり

[HP] <http://www.kyoto.zaq.ne.jp/dkalq300/>

富田病院

副院長 南部 裕和

1942年滋賀県生まれ。京大附属病院、高知市民病院、大津市民病院、日本バプテスト病院、舞鶴市民病院を経て、1997年より富田病院外科に勤務しております。日常の外科関連の疾患に、的確にお役に立てればと願っております。



部長 河原崎 茂孝

外科の河原崎です。専門は呼吸器外科、つまり肺、気管支など胸部の外科です。標榜は外科ですが、外来・入院ともに呼吸器内科の患者さんの診察もしています。風邪、気管支炎、肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、肺ガンなどを診察しています。

出身は静岡ですが、大学から京都に来て京都・大阪で勤務し、いつの間にか京都での生活の方が静岡にいた期間より長くなっていました。

京大病院ともしっかり連携をとっていきますので小さなことでも遠慮なくお気軽にご相談ください。



京都博愛会病院

院長 金 盛彦

大学卒業後、京大病院、高山赤十字病院、京都市立病院を経て、平成2年に当院へ赴任しました。消化器外科、一般外科を担当しています。扱っている主な疾患は、胃・大腸がん、胆石症などの胆道疾患、ヘルニア、痔核・直腸脱などの肛門疾患、乳がんなどです。他科とも緊密な連携をとり、個々の患者さんにきめ細かい対応を行って、安心と信頼を得られるよう心がけています。

昭和45年京都大学卒業、京都大学医学博士、日本外科学会認定医・専門医、日本消化器外科学会認定医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本医師会認定産業医、近畿外科学会評議員。



顧問 安倍 隆二

独立行政法人国立病院機構宇多野病院を平成14年に退官後、京都博愛会病院に赴任し、呼吸器外科呼吸器内科の診療を行っています。本院は、診療部門の専門医が充実していることから、研鑽を積み無医村での診療経験から総合診療の必要性を感じておりました。今後も総合診療医として地域医療に寄与したいと思います。

毎週火曜日午後、特殊外来として「息切れ外来」を、また水曜日午前、「低肺機能の在宅酸素療法」、「閉塞性肺疾患」、「喘息」等の診療を行っており、患者様お一人お一人に寄り添った医療に取り組んでいます。

◎日本胸部外科学会専門医・指導医
◎京都市感染症審査協議会(結核部会)審査委員長



京都博愛会病院
富田病院

TEL:075-781-1131 〒603-8041 京都市北区上賀茂ケン山1
<http://www.kyoto-hakuikai.or.jp/hakuai/>

TEL:075-491-3241 〒603-8132 京都市北区小山下内河原町56
<http://www.kyoto-hakuikai.or.jp/tomita/>